心ゆたかな子　かしこい子　たくましい子

◆学校教育目標【目指す子供の姿】

【素直で思いやりのある子】　【よく考え、良い行動ができる子】　【根気よくやり抜く子】

◆学校経営目標及び（育成する児童の資質・能力）

①自尊感情を育む教育活動（自分も仲間も大切にする力）　②確かな学力の向上（自分なりに考え、表現する力）
③安全教育、防災教育の充実（仲間と学び合い、自分を深めようとする力）④地域の特色を生かした信頼される学校

◆学校経営目標に対する取組課題

①授業や友達の関わりを通して学ぶ喜びを実感し、学ぶ意欲を持って努力する子どもの育成
②諸調査の結果・分析を授業実践につなぎ、成果が出る実行性のある取組
③地震・津波等の際の避難ルートの確保と日常的な危機管理の校内体制の確立
④特色ある取組の継続と海の学習を基点とした系統性のある学習の充実

写真：地震・津波避難訓練

◆学力向上推進目標　児童一人一人の「確かな学力」を向上させ、「生きる力」を育む

豊かな学びをつくる１０の指針

① 自尊感情
② 子ども理解
③ ほんもの
④ 一人のことばはみんなのたからもの
⑤ 学び合い
⑥ 積み残しをつくらない
⑦ 読書文化
⑧ 地域に根ざした学び
⑨ 伝統的な教員文化
⑩ 子どもたちの学びの姿から出発

写真：ハーリー体験学習

◆「勇気付けの教育」の推進◆

☆石垣市教育委員会☆大濱信泉プロジェクト☆

課題▲児童の良い点やその状況などの評価を効果的に取り入れた指導の工夫

《自己肯定感の高まり》との関連

☆「支持的風土を醸成し児童一人一人が活躍できる」学級経営の充実

☆キャリアパスポートを活用した校種間の連携強化と、地域行事等を核とした地域連携

◆支持的風土をつくる学級経営等
→学級経営の充実（学校教育支援員及び特別支援教育支援員等との連携）
→特別支援教育の充実（担任及び特別教育支援員、学校教育支援員等との連携）

◆生徒指導の4つのポイントを生かした取組
→学級経営の充実（自己存在感を与えること）
→教育相談週間の充実（SCとの連携、各種アンケートの活用）

◆学びに向かう集団づくりを進める学級活動及び児童会活動
→児童の自主的・実践的な各種委員会活動 ※キャリアパスポートの活用
→地域行事との連動した取組（八島っ子クリーン大作戦等）の実施

写真：児童会役員主導による八島っ子クリーン大作戦（ハーリー小屋近く）

課題▲「書くこと」の指導法やそれに基づいた交流の方法等

《学び・育ちの実感》との関連

☆「児童が互いの考えを交流し学び合える」ような対話的な活動の充実

◆◆◆　校内研究テーマ　◆◆◆

自分で考え、仲間と学び合い、共に高め合う八島っ子の育成
～「問い」が生まれる授業作りを通して～

◆主体的な学びを生み出す授業作りの工夫
◆指導の手立ての工夫と振り返り活動の工夫
◆読書活動の工夫
◆地域とのつながり、特色や人材を生かした学習活動
◆「け・テ・ぶ・れ」を取り入れた自学自習の工夫
◆1人1台端末を用いた個別最適化を目指した取組

共同研究

琉球大学教育学部との連携

課題▲教材研究を深め、授業改善を図るための打ち合わせの時間の確保

《組織的な関わり》との関連

☆児童の学びの姿を看取る視点と共通実践項目の共通理解

☆学校課題解決に向けた組織マネジメント機能を高める学校評価

◆言語環境のより一層の充実を図る（漢字と作文など）
◆家庭学習の習慣化※授業と連動した家庭学習の充実
◆学習環境の充実
→放課後のサンゴタイム（補習指導）の工夫と充実
→「学習の構え」の継続徹底
◆規範意識・マナーの向上
→「八島っ子あたりまえ10ヶ条の徹底」
◆読書活動の充実
→読書ブランチの充実
◆体験活動の充実
SDGsの達成に資する取組
→海の学習の充実
→安全教育の充実
→外国語教育の充実
→地域高齢者の方々との交流の充実

社会に開かれた教育課程

「SDGs」の達成に資する教育実践

★海の学習＆☆食育

★地域にある伝統行事・文化について関心を持つと共に、手作りのエークで　ハーリー船競漕や奉納踊りの体験・見学を通して、地域行事を身近に感じさせる。郷土愛、さらには自尊感情を育みます。

★地域の自然環境等（教育資源）、公共施設（環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター、八重山漁協、養殖場、石垣島気象台）や漁業者の皆様人材を活用し特色ある教育活動を実践します。

☆15年前の食育実践研究校における実践を機に、「お弁当の日」の取組がスタートしました。本校における「お弁当の日」が目指すものは「自立心」です。

PTA

本校ＰＴＡは，６つの専門委員会（総務、広報，文化教養、保健体育、校外生徒指導、環境整備）と各学年学級ＰＴＡ等から構成されています。それぞれがＰＴＡ年間計画のもと、エネルギッシュに活動を展開しています。

◆学校診断的評価（学校アセスメント）

児童、保護者、教職員（学校）の三者における学校アセスメントとしての評価を7月と12月、年間2回実施する。
→各種調査における県市や国の平均値及び中央値等を指標としながら、学校の状況をより診断的・個別的に捉え、学校課題をより明確にする。
→組織マネジメントの機能を高めると共に、強みを生かした特色あるカリキュラムの充実を図り、目指す子供像の具現化や資質・能力の育成につなげる。

石垣市立八島小学校

◇学校グランドデザイン◇ 2022-2023（令和4年度）